

# PCSA アクションレポート（理事会）

平成 30 年 5 月版

## 5 月拡大理事会

開催日時 平成 30 年 5 月 31 日（木） 午前 11 時 30 分～午後 12 時 40 分  
 開催場所 TKP ガーデンシティ PREMIUM 神保町「フォレスト」  
 出席者 理事 5 名、幹部 5 名、賛助会員オブザーバー 21 名、合計 31 名

### <代表理事>

加藤 英則 夢コーポレーション株式会社 代表取締役社長

### <副代表理事>

大石 明德 株式会社ニラク 取締役

合田 康広 株式会社合田観光商事 常務取締役

金本 朝樹 株式会社グランド商事・アドバンス 常務執行役

齊藤 周平 株式会社アメニティーズ 代表取締役社長

### <理事>

藤本 達司 株式会社ダイナム 代表取締役社長

河本 成佑 株式会社晋陽 代表取締役社長

### <専務理事>

中島 基之 一般社団法人パチンコ・チェーンストア協会

※理事 8 名

### <監事>

川辺 悦史 株式会社セルノ 代表取締役社長

宮村 伸輔 株式会社エルゴジャパン 常務取締役

### <モデレーター>

佐藤 公平 株式会社ダイナム 取締役会長

### <アドバイザー>

牛島 憲明 牛島憲明事務所 代表

## 第 1 号審議議案「第 17 期 PCSA 執行部案」審議【承認】

当件について事務局より説明があった。加藤代表理事が検討した第 17 期執行部案を理事候補全員に確認をし、全理事候補から執行部案を承服するという意見を頂いた。最終的に第 17 期定時社員総会で理事が承認され、その後の第 1 回理事会にて互選される。その事前確認として、審議、承認をお願いしたい。なお、結城 義晴氏からはアドバイザー就任について辞退するという連絡があった。結城氏を除く監事、モデレーター、アドバイザーは第 16 期からすべて留任となる。

### «第 17 期執行部案»

代表理事 加藤 英則氏（夢コーポレーション株式会社 代表取締役社長）

副代表理事 大石 明德氏（株式会社ニラク 取締役）

第 16 期役職

代表理事

副代表理事

	合田 康広氏（株式会社合田観光商事 常務取締役）	副代表理事
	齊藤 周平氏（株式会社グランド商事・アドバンス 常務執行役員）	副代表理事
	金本 朝樹氏（株式会社アメニティーズ 代表取締役社長）	副代表理事
理事	藤本 達司氏（株式会社ダイナム 代表取締役社長）	理事
	山田 孝志氏（株式会社 TRY & TRUST 代表取締役社長）	理事
	城山 朝春氏（ミカド観光株式会社 社長室長）	理事代理
	福井 宏彰氏（株式会社ボネール AM 事業部次長）	理事代理
	石川 直史氏（株式会社ワールド 代表取締役社長）	理事
	金光 淳用氏（株式会社ヒカリスistem 代表取締役社長）	理事
	河本 成佑氏（株式会社晋陽 代表取締役社長）	理事
専務理事	中島 基之（専務理事）	専務理事

（理事合計 13 名）

「監事」 川辺 悦史氏（株式会社セルノ 取締役会長）

宮村 伸輔氏（株式会社エルゴジャパン 常務取締役）

「モデレーター」 佐藤 公平氏（株式会社ダイナム 取締役会長）

「アドバイザー」

チェーンストア経営分野アドバイザー

佐藤 洋治氏（株式会社ダイナムジャパンホールディングス 取締役兼相談役）

経営分野アドバイザー

牛島 憲明氏（牛島憲明事務所 代表）

法律分野アドバイザー承諾

三堀 清氏（三堀法律事務所 弁護士）

調査研究・経営分野アドバイザー承諾

藤田 宏氏（株式会社エンタテインメントビジネス総合研究所 代表取締役社長）

<意見>

・特になし。

<審議>

加藤：上記のメンバーを執行部としてよいか。

一同：異議なし。

## 第 2 号審議議案 「中古機流通 非組合対応について」審議 【審議なし】

当件について事務局より説明があった。日遊協から 2 月 22 日に開催された中古機流通協議会の資料が届いた。こちらは全日遊連が起案したもので、全日遊連非組合員の中古機流通制度の利用を来年 4 月以降取りやめるといったもの。5 月 26 日の法律問題研究部会で起案したところ、制度が利用できなくなるのは困るという意見が出た。主な理由は、制度が使えないとメーカーと直接のやり取りになり対応が煩雑になる事、入替費用が不明瞭で高くなる可能性がある事、が述べられた。

また、三堀弁護士に法的に問題が無いか確認したところ、4 つの点から独禁法上、問題があるという回答を得た。

<審議>

加藤：それではこの件について、正式な質問ではないので審議をしないこととする。

## 第 3 号報告議案「第 16 期決算報告・監査報告」の件

当件について事務局より説明があった。

＜決算報告書 概要＞

貸借対照表	資産の部	2193 万 2795 円
	負債の部 流動負債	175 万 1637 円
	負債の部 純資産	2018 万 1158 円
損益計算書	セミナー売上高	1 万 7000 円
	会費収入	4934 万 5000 円
	入会金収入	20 万 円
	販売費・一般管理費	5322 万 8246 円
	営業利益金額	△366 万 6246 円
	当期純利益	△370 万 3100 円

中島：上記の決算内容に基づき、川辺監事と宮村監事に監査していただいた。5 月 17 日付で監査報告書を作成いただき、本日の第 17 期定時社員総会で宮村監事より総会で監査報告をしていただく。

＜意見＞

・特になし。

## 第 4 号報告議案「第 17 期定時社員総会・第 64 回 PCSA 公開経営勉強会」報告

当件について事務局より説明があった。

＜スケジュール＞

13：00～15：00 **第 17 期定時社員総会**

13：00 開会宣言（藤本理事）

13：05 総会議案

13：20 研究部会・研究会・プロジェクトチーム 第 16 期活動報告・第 17 期活動計画 報告

13：40 新役員発表、委嘱状授与

14：00 ご講話 警察庁生活安全局保安課課長補佐 津村 優介様

（本日所用のため、係長の北久保 孝行氏が代行）

14：15 功労会員表彰

14：25 第 1 回フレッシュマンズ懸賞アイデア・エッセイ表彰式

15：00 閉会宣言（河本理事）

15：30～17：45 **第 64 回 PCSA 公開経営勉強会**

15：30 開会挨拶（金本副代表理事）

15：30 第 1 部『新しい規則で生まれる遊技機 ～パチンコ／SANKYO 編～』

講 師： 轟木 崇大様

株式会社 SANKYO 商品本部 第一開発部 次長 兼 ゲージ課 課長

16：45 第 2 部『新しい規則で生まれる遊技機 ～スロット／ユニバーサルエンターテインメント編～』

講 師： 長谷川 崇彦 様

株式会社ユニバーサルエンターテインメント 開発本部 マーケット戦略室 室長

日本アミューズメント放送株式会社 代表取締役

17：45 閉会挨拶（齊藤副代表理事）

<意見>

- ・案内は都道府県警に出しているのか？ 出す必要があるか？  
     >（事務局）PCSA の活動を知ってもらいたいと考え案内を出している。
- ・県警は招待か？ > その通り。
- ・6月の理事会で勉強会の案内を出すリストを出してもらって理事会で判断したい。
- ・第1回理事会はいつ開くのか？ > 議長解任の後、別室で開催する。
- ・順番がすっきりしていない感じなので、今後検討したい。

### 第5号報告議案「正会員 退会」報告

当件について事務局より説明があった。

会社名：京都紅葉株式会社

代表者：安川 泰雄氏

退会理由：一身上の都合により

<意見>

- ・退会は理事会審議ではないか？ > 審議では無く、申入れにより退会となる。
- ・ほとんど参加は無いのか？ > 理事会、総会、研究部会などほとんど参加は無い。

### 第6号報告議案「業界団体活動」報告（3団体代表者会）

当件について事務局より説明があった。4月の理事会でもご報告の通り、PCSA、同友会、余暇進の3団体の代表者で会を開くこととなり、5月15日に第1回の会合があった。呼びかけのあった余暇進からの提案は「パチンコの業を安定して続けていくために様々な問題点をクリアーにしたい」という事であった。今後の申し合わせ事項として、次の3点が挙げられた。

- ・今後、1月に1回のペースで3団体の会議を開催。（次回、6月11日開催予定）
- ・余暇進で作成した「法案要旨」を元に各団体で検討し、意見を持ち寄る。（本日は間に合わず）
- ・各団体が特別なアクションを起こすときには事前に情報共有をする。

<意見>

- ・現実問題、どう進めていくかというところ。
- ・余暇進は業界が意見をまとめたら政治家が後押ししてくれると言っている。
- ・1議員では難しい。どう進めていくかの議論が必要。
- ・業法は日遊協と全日遊連は反対するはず。
- ・IRがある中でパチンコをどういうスタンスでやるのかが知りたい。
- ・次回は6月11日にあるのでまた報告する。

### 第7号報告議案「高射幸性回胴式遊技機の取組（全日遊連規制）」報告

当件について事務局より説明があった。4月26日に全日遊連より連絡があった。「高射幸性回胴式遊技機の削減に向けた取り組みの実施について」全日遊連が各都道府県方面遊協に案内を送ったとの事。内容は、高射幸性回胴式遊技機の設置台数比率を徐々に下げていくというもの。2019年1月31日に設置台数の15%以下、2020年1月31日に5%以下、2021年1月31日に0%にするというもの。

この件で事務局は全日遊連に問い合わせをしたところ「この内容はあくまでも全日遊連の自主規制だが非組合員ホールにもご協力をお願いしたい」との事。ペナルティについても尋ねたところ「設置割合を超えているホールは中古機の保証書を出さないような対応を考えている」との事。

なお、PCSA 会員、賛助会員にはすでにこの連絡を転送して案内をしている。

### 第 8 号報告議案「機構 平成 29 年度通期活動報告」

当件について事務局より説明があった。平成 29 年度の一般社団法人遊技産業の立入検査活動報告の集計結果が出た。全ページの情報は事前資料でお送りしており、本日は抜粋版の資料を提出している。平成 29 年度の検査件数は 51 都道府県方面で 2375 ホール、検査台数は 1 万 6244 台となっている。また、稼働平均も出ており、パチンコ 4 円で 16%、低貸で 33%。スロットは 20 円で 21%、低貸で 31%という事であった。

### 第 9 号審議議案「正会員 休会継続」審議【承認】

当件について事務局より説明があった。現在休会中の正会員より休会延長の申し出があった。

<記>

会 社 名：有限会社エー・アール・ケー

代 表 者：白 盛基氏

休会期間：平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日

<審議>

加藤：上記の休会の申し出を了解しても良いか。

一同：異議なし。

### 第 10 号審議議案「リカバリーサポートネットワーク 追加支援」審議【継続審議】

当件について事務局より説明があった。4 月 21 日に 21 世紀会が開催され、リカバリーサポート・ネットワーク (RSN) に人件費関連で 550 万円の追加支援をすることが決まった。それを受け、5 月 28 日付で全日遊連からホール関係団体の負担について調整してほしい、というお願いの文書が届いた。

それによると、パチンコホール側の負担は従来通り全体の 50%。全日遊連では全体の 45.5%を支払い、残りの 4.5% (24 万 7500 円) を 4 団体で調整してほしいとの事。(45.5%は全日加盟割合の 91%にホール側の 50%を掛けたパーセント)。なお、元々の 2800 万円の支援 (PCSA は昨期まで 105 万円) はそのまま変更しないで欲しいとの補足もあった。

文書には「別表」の添付があり、ホール 4 団体で調整した額を「別表」に記入してほしいという依頼であった。なお、前期の 4 団体の割合は日遊協 2%、PCSA 1.9%、同友会 0.4%、余暇進 0.2%であった。

締め切りについて、明確な表示は無かったが「7 月早々に入金できるよう準備したい」という事で、早急な検討、回答が求められている。

<意見>

・きちんと説明する文を書いて、PCSA の考え方を出す事とした。

### その他

その他 PCSA スケジュール

## 次回開催

平成 30 年 6 月 21 日（木）開催

<スケジュール>

14：45～15：45 «第 67 回遊技法研究会» (委員及び理事・幹部・会員・賛助・特別会員)

16：00～17：30 «6 月拡大理事会» (理事・幹部・会員・賛助会員・特別会員)

17：45～19：45 «情報交換交流会» (理事・幹部・会員・賛助会員・特別会員)

会場：PCSA 会議室

以上